

# 1 私の生活，大発見！

★実施時期：4月上旬～4月下旬

★指導時間数：4時間

## 【学習指導要領】

A 家族・家庭生活

(2) 家庭生活と仕事

ア 家庭には，家庭生活を支える仕事があり，互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解すること。

イ 家庭の仕事の計画を考え，工夫すること。

B 衣食住の生活

(2) 調理の基礎

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し，適切に使用できること。

## 【題材の目標】

・家庭の仕事や「協力・協働」の視点で捉え，家庭生活を支える仕事があることや協力し分担する必要性を理解し，家庭の仕事の計画を考えたり工夫したりすること。

・家庭生活と仕事について，家族の一員として生活がよりよくなるように振り返ったり工夫したりする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どんな生活をしているのかな	・家庭には，衣食住に関する仕事があり，自分や家族の生活を支えていることを理解している。	・家庭の仕事について課題を見つけ，解決するための工夫をしている。	・生活をよりよくしようと，家庭生活と仕事についての課題解決に主体的に取り組む，家族に協力しようとしている。
自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱いができる。 ・加熱用調理器具の安全な取扱いができる。		
できることを増やしていこう	・家庭の仕事を家族が協力し合って生活する必要があることを理解している。	・家族の一員として，協力して仕事をしようとしてよりよい方法を工夫したり，家庭生活に関わる計画を立てたりしている。	

## 2 おいしい楽しい調理の力

★実施時期:5月上旬～6月下旬

★指導時間数:6時間

### 【学習指導要領】

B 衣食住の生活

(2) 調理の基礎

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。

(イ) 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。

(ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。

(エ) 材料に適したゆで方、いため方を理解し、適切にできること。

イ おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。

### 【題材の目標】

・ゆでる調理を「健康・快適・安全」の視点で捉え、調理の基礎を身に付け、おいしく食べるための調理計画や調理の仕方を考え、工夫すること。

・ゆでる調理の基礎について、実生活で生かせるよう身に付けたり調理計画や調理の仕方をよりよく工夫したりする態度を養うこと。

### 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調理の目的や手順を考えよう	・調理の目的や手順について理解している。	・調理をすることのよさや効率の良い調理の手順について考えている。	・調理の基礎について学んだことを基に生活を振り返って、改善したり工夫したりしようとしている。
ゆでる調理をしよう	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い方を理解している。 ・加熱用調理器具を適切に使うことができる。 ・材料に適したゆで方で適切に調理することができる。	・調理に必要な材料の分量や手順を考え、調理計画を立てている。 ・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方を工夫している。	
工夫しておいしい料理にしよう	・調理を振り返り、調理用具や器具の安全で衛生的な取扱いについて理解している。	・調理実習を振り返り、課題などについて見直しや工夫をしようとしている。	

# 3 ひと針に心をこめて

★実施時期:7月上旬～7月下旬

★指導時間数:9時間

## 【学習指導要領】

### B 衣食住の生活

#### (4) 衣服の着用と手入れ

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 日常着の手入れが必要であることや、ボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解し、適切にできること。

#### (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。

(イ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。

イ 生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

## 【題材の目標】

- ・生活を豊かにするための布を用いた手縫いの製作を「健康・快適・安全」の視点で捉え、製作に必要な材料や手順、目的に応じた縫い方や用具の取り扱い方を身に付け、製作計画を考え製作を工夫すること。
- ・生活を豊かにするための布を用いた手縫いの製作を主体的に取り組んだり、製作計画や製作をよりよく工夫したりする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
針と糸を使ってできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・針と糸で縫うことのよさを理解している。</li> <li>・針と糸のできることを見つけることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手縫いについて主体的に学び、布を用いた物の製作を工夫しようとしている。</li> <li>・製作した小物を、生活に生かそうとしている。</li> </ul>
手ぬいトライ!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手縫いに必要な用具の安全な取扱い方を理解している。</li> <li>・玉結び・玉どめ・なみ縫い・返し縫い・ボタン付けができる。</li> <li>・製作に必要な材料や手順、製作計画について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の使い方を調べたり確かめたりして、安全に気をつけ効率を考えている。</li> </ul>	
手ぬいのよさを生活に生かそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手縫いのよさを生かすための製作計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手縫いのよさを、生活に生かそうと考えたり工夫したりしている。</li> </ul>	

## 4 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方

★実施時期:9月上旬～9月下旬

★指導時間数:6時間

### 【学習指導要領】

#### C 消費生活・環境

##### (1) 物や金銭の使い方と買物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

##### (2) 環境に配慮した生活

ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。

イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。

### 【題材の目標】

・物や金銭の使い方と買物・環境に配慮した生活を「持続可能な社会の構築」の視点で捉え、買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さ、物の選び方や買い方を身に付け、身近な消費生活や環境に配慮した物の使い方などに課題を見つけて解決の方法を考えたり工夫したりすること。

・物や金銭の使い方と買物・環境に配慮した生活について、知識及び技能をよりよく身に付け日常生活に役立てようとする態度を養うこと。

### 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上手に選ぶために考えよう	・買う前に本当に必要かや使い道について考えるなどの消費者の役割について理解している。		・物やお金が家庭生活を支えていることを理解し、消費生活について積極的に学ぼうとしている。 ・物の選び方や買い方を主体的に学び、学習したことを生かして目的に合った買い物をしようとしている。 ・環境や資源に配慮した物の使い方や買物の仕方をしようとしている。
買物の仕方について考えよう	・買物の仕組みを理解している。 ・物や金銭の計画的な使い方を理解している。	・購入に必要な情報を活用し、物の選び方や買い方を考え、工夫している。	
上手に暮らそう	・上手な物の選び方や使い方を理解して、生活に役立てることができる。	・環境や資源に配慮した物の使い方や買物の仕方をしようと考え、工夫している。	

# 5 食べて元気！ご飯とみそ汁

★実施時期:10月上旬～11月中旬

★指導時間数:10時間

## 【学習指導要領】

### B 衣食住の生活

#### (1) 食事の役割

ア 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解すること。

#### (2) 調理の基礎

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。

(イ) 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。

(ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。

(オ) 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。

イ おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。

#### (3) 栄養を考えた食事

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。

(イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解すること。

## 【題材の目標】

・食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理を「健康・快適・安全」の視点で捉え、調理の基礎を身に付け、おいしく食べるための調理計画や調理の仕方を考え、工夫すること。

・食事の役割と栄養や米飯及びみそ汁の調理の基礎を主体的に身に付け、調理計画や調理の仕方をよりよく工夫しようとする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
毎日の食事を見つめよう	・毎日の食事を振り返り、食事の必要性に気づくことができる。	・毎日の食事を振り返り、どのようなものを食べているのかを考えている。	・毎日の食事の必要性について考え、主体的に調理実習に取り組もうとしている。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解し、学んだことを活用してバランスのよい食事をとろうとしている。
日常の食事のとり方を考えて、調理しよう	・日本の伝統的な食事の基本となるご飯とみそ汁の特徴を理解している。 ・ご飯とみそ汁の調理ができる。 ・食器の配膳が適切にできる。 ・栄養素の種類とその働きが分かり、3つの食品グループに分けることができる。	・おいしいご飯の炊き方やみそ汁の作り方について考えたり工夫したりして調理計画を立てている。	・ご飯とみそ汁の調理を生かし、家庭生活に生かそうとしている。
食生活を工夫しよう	・調理実習を振り返り、ご飯とみそ汁の作り方のポイントをまとめることができる。	・ご飯とみそ汁の調理の仕方や組み合わせ方を工夫して、栄養バランスのよい食事をとろうと考えている。	

# 6 物を生かして住みやすく

★実施時期:11月中旬～12月中旬

★指導時間数:7時間

## 【学習指導要領】

### B 衣食住の生活

#### (6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(1) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。

イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、快適な住まい方を工夫すること。

### C 消費生活・環境

#### (2) 環境に配慮した生活

ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。

イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。

## 【題材の目標】

・快適な住まい方を「健康・快適・安全」の視点で捉え、整理・整頓や清掃などの基礎を身に付け、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切にされたものの使い方などを考え工夫すること。

・快適な住まい方や環境に配慮した生活について考え、生活を振り返って改善したり生活がよりよくなるよう工夫したりする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りや生活の場を見つめよう	・身の回りを気持ちのよい場所にすることを理解している。	・身の回りの現状を調べ、改善策を工夫している。	・身の回りの物の整理・整頓の必要性を理解し、学んだことを活用してより快適に整えようとしている。 ・環境に配慮した物の使い方をしようとしている。
身の回りをきれいにしよう	・整理・整頓の必要性を理解している。 ・身の回りの物の整理・整頓が適切にできる。 ・汚れの種類に合った掃除の仕方を理解している。	・整理・整頓の仕方を工夫している。	
物を生かして快適に生活しよう	・物を再生利用するなど、環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	・環境に配慮した物の使い方などを考え、工夫している。	

# 7 気持ちがつながる家族の時間

★実施時期:12月中旬～12月下旬

★指導時間数:2時間

## 【学習指導要領】

A 家族・家庭生活

(3) 家族や地域の人々との関わり

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解すること。

イ 家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。

## 【題材の目標】

・家族との関わりを「協力・協働」の視点で捉え、家族との触れ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え工夫すること。

・家族との触れ合いや団らんについて課題を見出し、解決に向けて主体的に取り組もうとする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族とふれ合う時間を見つけよう	・家族や周囲の人との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。		・家族や周囲の人との触れ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを工夫しようとしている。 ・家族や周囲の人と団らんしたり触れ合ったりする計画を立てて、実践しようとしている。
わが家流団らんタイム	・団らんタイムの計画の立て方を理解している。	・家族や周囲の人との触れ合いや団らんをより深めるための方法を考えたり、計画を立てたりしている。	
団らんを生活の中に生かそう		・家族や周囲の人とのよりよい関わりについて考え、工夫している。	

# 8 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活

★実施時期：1月上旬～3月中旬

★指導時間数：11時間

## 【学習指導要領】

### B 衣食住の生活

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。

(イ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。

イ 生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

## 【題材の目標】

・生活を豊かにするための布を用いたミシン縫いによる製作を「健康・快適・安全」の視点で捉え、ミシン縫いの基礎を身に付け、製作計画を考えたり製作を工夫したりすること。

・ミシン縫いの基礎を主体的に身に付け、製作計画や製作をよりよく工夫して日常生活に役立てようとする態度を養うこと。

## 【具体的な評価規準例】

小題材	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ミシンぬいのよさを見つけよう	・ミシンで縫うことのよさを理解している。	・手縫いと比較して、ミシン縫いの特徴を見つけている。	・主体的にミシン縫いの特長を理解し、布を用いた物の製作を工夫しようとしている。 ・製作した作品を、生活に生かそうとしている。
ミシンにトライ！	・ミシンの安全な取扱い方を理解している。 ・製作に必要な材料や手順が分かり、布を用いた物の製作計画について理解している。 ・ミシンを用いて作品を製作することができ	・布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫している。 ・目的に応じて適した縫い方を考えたり、工夫したりしている。	
世界に一つだけの作品を楽しく使おう	・作った作品を生活に役立たせることができる。	・作品を使った感想や友達の作品を参考にて、新たに生活に役立つ物の製作計画を考え、工夫している。	